

皮膚・排泄ケア 専門看護研修

専門分野	皮膚・排泄ケア				
担当	皮膚・排泄ケア認定看護師：竹長 幸子 ・ 竹内 真弓				
目的	褥瘡予防対策を含む、スキンケア方法の知識・技術を習得し、自部署において指導的立場で看護ケアを実践することができる				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.皮膚の構造・生理的機能、皮膚に与える要因についての知識を習得する（認知領域：理解） 2.予防的・治療的スキンケアについて説明できる（認知領域：理解） 3.DESIGN-R を用いた褥瘡評価ができる（認知領域：理解） 4.DESIGN-R に基づく褥瘡治療（外用薬・ドレッシング材）が説明できる（認知領域：理解） 5.褥瘡のアセスメントおよびケアの方法（予防から治療まで）が説明できる（精神運動領域：操作） 6.スキンケアについて予防、ケアの方法が説明できる（精神運動領域：操作） 7.医療機器関連圧迫創傷（MDRPU）についての予防、ケア方法が説明できる（精神運動領域：操作） 8.おしりケアに関する予防、ケアの方法が説明できる（精神運動領域：操作） 9. 院内で採用されているスキンケア用品が選択でき、看護ケアを行うことができる（実習を含む）（精神運動領域：操作） 10.研修で学んだ知識・技術を症例検討につなげ、自部署での看護過程の展開に応用できる（認知領域：応用） 11. 研修終了後の自部署での活動について、指導的立場がとれることを目的とした目標設定ができ自主的に活動できる（計画書作成）（情意領域：反応） 				
対象者	院内・院外受講生：看護師経験年数5年以上であり、そのうち創傷・褥瘡のある患者の看護を3年以上経験している看護師であること（リンクナースはその限りにあらず） 褥瘡対策に携わり、積極的に創傷・褥瘡ケアを学びたいと志し、実践、指導できるもの				
人数	各部署受講生2～3名以内（全体で15名程度）、院外受講者5名以内（先着順）				
受講選考	院内：：受講していない部署の申込み者を優先的に選考				
研修場所	地域研修センター				
研修時間	第1回：2019年5月13日（月）18:00～19:15 第2回：2019年6月10日（月）18:00～19:15 第3回：2019年7月8日（月）18:00～19:15 第4回：2019年8月5日（月）18:00～19:15 第5回：2019年9月9日（月）18:00～19:15 第6回：2019年10月7日（月）18:00～19:15 第7回：2019年11月11日（月）18:00～19:15 ※計画書作成・提出 2019年11月末まで 2020年5月（中間）、12月（最終）提出				
		内容	方法	使用物品	その他
	第1回	オリエンテーション	講義	PC	実技あり

内容		【健康な皮膚・スキンケア】 1.皮膚の構造と生理機能 2.スキンケアの基本（保清・保湿・保護） 3.褥瘡発生のメカニズム	演習	フィルム ごみ袋	ミニテスト実施
	第2回	【褥瘡の概要】 4.褥瘡の治癒過程（治癒過程、難治化の原因） 5.褥瘡の分類（深達度） 6.DESIGN-R	講義	PC ポケット版 DESIGN-R 評価票	ミニテスト DESIGN-Rを用いた症例検討
内容	第3回	【褥瘡の予防】 7.皮膚の観察・好発部位 8.褥瘡の予測（リスクアセスメント・ツール） 9.圧迫・ずれの介助（臥位・座位）	講義	PC	ミニテスト
	第4回	【褥瘡の治療】 10.急性期褥瘡 11.慢性褥瘡の治療（DESIGN-Rに基づいた考え方）	講義	PC	ミニテスト
	第5回	【発生後の褥瘡ケア】 12.局所ケア 13.スキンケア・MDRPUについて	講義	PC	ミニテスト
	第6回	【実習】 14.皮膚被膜剤・剥離剤の使用方法 15.圧迫ずれの解除（圧抜きなど）	演習	PC 皮膚被膜剤 剥離剤 ベッド2台	実技
	第7回	【事例検討】 課題症例に対する検討・発表	GW	PC	
事前課題	受講申込書の中で自部署での褥瘡予防対策における問題点を明確にしておく				
事後課題	院内受講生：研修修了後の自部署での課題解決を目的とした計画書作成（別紙1） 11月中に作成し提出する（研修終了後5月、12月に計画書を提出する）				
合格基準	1.全ての講義を受講する 2.ミニテストで80点以上（80点以下の場合、文献等で各自学習し訂正する）				
参考図書	スキントラブルケア パーフェクトガイド：内藤亜由美/安部正敏，学研，2015 スキンケアガイドブック：日本創傷・オストミー・失禁管理学会編，照林社，2017 宮地良樹他：褥瘡治療ケア・トータルガイド，照林社，2009 溝上祐子：カラー写真とイラストでわかる創傷管理，メディカ出版，2006 日本褥瘡学会：褥瘡予防・管理ガイドライン，照林社，2009 田中秀子：創傷ケア用品の正しい選び方・使い方，日本看護協会，2008				

<p>真田弘美ほか：実践に基づく褥瘡看護技術,2009 照林社</p> <p>内藤亜由美ほか：スキントラブルパーフェクトブック.2013.学研</p> <p>日本看護協会：スキンケアガイドランス</p> <p>日本創傷・オストミー・失禁管理学会：ベストプラクティス スキン-ケア（皮膚裂傷）の 予防と管理.照林社.2015 より</p> <p>MDRPU ベストプラクティスー医療関連機器圧迫創傷の予防と管理ー：日本褥瘡学会.照林 社.2016</p>
--